

【教育目標】

○自ら考え正しく判断できる生徒 ○心豊かで最後までやり抜く生徒 ○健康で活力ある生徒



福島県南相馬市立原町第一中学校

原一中だより

第 1 2 号 令和6年3月22日(金)発行

令和5年度 重点目標 未来をみつめ とともに学び 高め合える生徒

卒業式！次のステージへ繋ぐ

3月13日(水)、第77回卒業証書授与式を挙行了しました。109名の卒業生は、3年間の輝かしい思い出を胸に、新しい世界への期待を抱いて巣立っていきました。

在校生、保護者、ご来賓の方々が一堂に会しての卒業式は、2019年以来5年ぶりです。南相馬市副市長新田様をはじめ、多くのご来賓をお迎えし、厳粛な中にも感動的な素晴らしい卒業式となりました。

卒業生代表の高橋さんの答辞は、これまでの3年間を振り返りながら、様々な経験をとおして成長できたことへの感謝を述べるものでした。「数々の思い出ができた3年間。入学当時は不安を持ちながら過ごしていた日々ですが、その不安もなくなり、毎日が『楽しい』であふれ、とても充実していました。私たちなりのやり方で、私たちにしか作れない日々は、固く結ばれた信頼と友情が積み重ねられてできたものだと思います。」と語り、在校生、教職員、家族、同級生へ感謝の気持ちが伝えられました。

そして、最後に「この3年間で学んだことを、次のステージへ繋いでいきます。何事にも失敗を恐れず、多くのことに挑戦し、日々努力してまいります。」とまとめました。多くの人の胸を打つ感動的な答辞でした。



令和6年度 生徒会役員決定

3月18日(月)、令和6年度生徒会役員立候補者の立会演説会が行われ、立候補者たちは身振り手振りを交えながら公約について熱く語りかけていました。今回は全役職の定数どおりの立候補者数のため、全員が無投票当選となり、あわせて認証式も行われました。

会長	坂井さん(2年)
副会長	岡島さん(2年)
副会長	田中さん(2年)
庶務	天野さん(2年)
庶務	北畑さん(2年)
庶務	橋本さん(1年)
庶務	小林さん(1年)



震災・原発事故の教訓を未来へ

東日本大震災と福島原子力発電所事故の風化が懸念される中、経験や教訓を末永く継承しようと福島県が中学生を対象として初めて企画した「未来への手紙」に、2年生の鈴木さんが応募し、729通の中から県の震災追悼復興祈念式典で紹介された3作品に見事選出されました。その一部を紹介します。

福島に住む私たちは、当たり前の毎日が、明日も来ることではないと知っている。
福島に住む私たちは、故郷がいつも帰れる場所じゃないことを知っている。
忘れない記憶も、忘れてはいけない記憶もすべて、伝えていくべきこと。
今を生きる私たちが、この想いを繋げるボタンを受け取り、生かしていこう。